

## 政府スポンサーによる国内テロが公立学校を狙う

CIA の MK ウルトラ・マインド・コントロールが、

“大量狙撃者”をつくり出し、“一匹ガンマン”を愚か者にする

【訳者注】一つ前のような記事を、少しでもより分かりやすくできるかと思い、訳してみたが、これは全体の4分の1ほどで、考えるヒントにすぎない。

今、世界で起こっていることを、分かりにくくしている要因の最大のものは、我々の常識としての良心であろう。いかに悪人といっても、同じ人間がそこまでやるはずはない。まさか一国の政府がそんなことをするはずがない…。ほとんどの人はそう思っていて、深い知識に基づく警告者 SOTN の、このような覚醒を促す解説に、かえって疑問の目を向けるかもしれない。

どうしてこのような同じパターンのニセ旗攻撃が、繰り返されるのだろうか？ ほとんど隠す気はないように見える。最大のものは 9・11 テロだが、米政府の公的説明を信ずる者は、ほとんどいなくなったと思われる。にもかかわらず、それを信じたふりをして深層国家の安泰を図り、かつ自らの利益を図る、卑怯者どもがいかに多いか、これによって、現体制が成り立っていることに、我々は気づくべきである。悪の規模を知らないことが、悪を助けている。論語に「信なくば立たず」という言葉があり、「信」は政府と民衆、あるいは人と人、国家と国家が、うまくいく基本である。しかし、無知からにせよ何にせよ、曲がった者同士の「信」は、サタン世界の関係である。これが我々の嘔吐感の根源にある。

SOTN (State of the Nation)

February 18, 2018



## Operation Gladio C (グラディオ作戦 C)

米合衆国は何十年にも及んで、“非常に深い”深層国家の完全な支配を受けてきた。この非常に深い深層国家は、アルファベット 3 文字のアメリカ情報部共同体の各部局を使って、アメリカ社会のあらゆる分野を、モニターし、監視している。前世紀のソビエト連邦のように、秘密というものは存在しない。現在は 50 州のどこにも、文字通り完全に、秘密はなくなった。隠れた市民スパイの広大なネットワークがあつて、あらゆる郡で活動しているだけでなく、深層国家のエージェントが、全米の、名を知られた、あらゆる組織にひそかに送り込まれている。現在の、この国家安全保障国家は、その全方位的な監視態勢とスパイ網をもっていて、全開された共産主義警察国家として、現実に機能している (FBI は全く KGB とイコールである)。影の政府 (密かに動く、独裁的な、万能の地球的組織) は、米連邦政府を監視しながら、(NATO の命令とコントロールを通じて) **グラディオ作戦 C** を用い、政府支援によるテロリズムを使って、合意をつくり出している。特に大量射撃は、このように国家をテロによって服従させ、国家主権を腐食させる、非情なやり方を組織的に用いている。アメリカ共和国を覆すことが、ただ一つの最も重要な、グラディオ作戦 C の目標である。他の国家群は、彼ら独自の、グラディオ作戦 C を経験しており、それはヨーロッパ連合、中東、南アジア、中米と南米、メキシコなどを通じて、見られる通りである。

### ——情報アナリスト、元米軍士官

SOTN より——ここに暴かれている事実には、ある元米情報局インサイダーから寄せられた、特権的な情報が含まれている。SOTN は、元情報局エージェント、政府インサイダー、軍士官、部局内警鐘家、調査ジャーナリスト、アームチェア探偵、深層研究者、インターネット刑事、素人調査官、その他、多くの愛国者の皆さん方から提供された、すべての情報/データに、深く感謝を申し上げる。

アメリカ合衆国は、NWO グローバリスト陰謀団の、国内外のエージェントによる無慈悲なテロ攻撃に、ずっとさらされてきた。これらすべてのニセ旗テロ作戦は、グラディオ作戦 C、すなわち、超秘密の企てであり、NATO の悪名高い「グラディオ作戦」の組織的派生物であるものの、例式に基づいて実行されている。次の論文は、いかにオバマが、この国家援助によるテロを米国土上に許可する、法的枠組みを、不法に完成させたかを悦明している。

「〈ニセ旗〉とは、防衛省の作り出した法的なプロパガンダである」

<http://stateofthenation2012.com/?p=29475>

「グラディオ作戦」は、情報サークルと軍指導部を通じて、NATO の指図する、隠れた、現行のテロ作戦として、世界に広く知れ渡っている。これらの情報・秘密部局の職員たちは、ヨーロッパやアメリカで行われる、NATO による多くのニセ旗テロ攻撃を、直に知っている人たちで、彼らは NATO を、**North Atlantic Terrorist Organization**「北大西洋テロリスト機構」と、静かに呼んでいる（言うまでもなく、本当は Terrorist でなく Treaty）。

これは、Operation Gladio が、自前でテロ攻撃を行わないということではない。現在では、インターネット上に、状況的な、逸話による、また固い証拠による、膨大な量の証拠があり、それらは直接、CIA、FBI、NSA、DHS、DOD、地方警察などと、近しく協力し合っているだけでなく、他のすべてのパートナー（例えば **SERCO**）と組んで、グラディオ・ブラック作戦を遂行している。

「外注受託巨大企業 **SERCO** は、米国家安全保障省を丸受けしている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=29475>

ジョン・F・ケネディが大統領職について以来、アメリカで起こった、ほとんどすべての大量射撃・爆弾事件は、NATO のグラディオ作戦 C のやり方に従って、実行されてきた。

**キーポイント**：なぜ NATO なのか？ なぜ SERCO なのか？ ちょうど FISAgate スキャンダルによって、グレートブリテンの FusionGPS が、ニセのトランプ書類一式を偽造したことが明らかになり、また Wiretapgate（トランプタワー盗聴事件）によって、イギリスの GCHQ（諜報機関）が、トランプタワーの電子監視を不法に行っていたことが明らかになったように、決まってイギリス人は、アメリカの犯罪者を、犯行の現場から遠ざけるのに利用される。（これがまた、なぜ British Petroleum が、2010 年の BP（企業）メキシコ湾岸カス漏れ事件の、悪者に選ばれた理由でもある——NIHOP ブラック作戦。）NATO も同様に利用され、特に英軍指導層は、グラディオ作戦 C を監視して、万一、深刻な漏洩があった場合は、もっともらしく否定できるようにしている。SERCO はハンプシャーHook に本社を置き、隠べいをうまくやるのに必要な、すべての背後の細かい仕事を行う。

1990 年以後の、アメリカ本土への 3 つの最大の爆弾攻撃は、客観的に見るならば、明らかに政府スポンサーによるテロリズムである。公的な記録は、これら大型テロ攻撃へのどんな政府参加をも、告訴することなく、それに触れることさえしていないが、それらは間違いなく、米政府のあらかじめの知識と、積極的な協力、特に透明な隠べいなしには、実行不可能

だっただろう。

- (1) 1993年の世界貿易センター爆撃
- (2) 1995年のオクラホマ市庁舎爆撃
- (3) 2001年の世界貿易センターとペンタゴンへのテロ攻撃

その上、科学的・実践的に証明されていることは、これらの爆弾事件のどの一つを取っても、FBI内部にも、米連邦政府の他のならず者部局にも、犯罪者分子の支持があって初めて、実行が可能だったことだ。それぞれのケースで、これらの慨嘆すべき犯罪で告訴され起訴される者たちは、彼らの与り知らぬ残虐行為によって、間違っ有罪とされ、判決を受けた者たちである。

上にあげたような大きな陰謀犯罪を、うまくやり遂げるためには、膨大で、高度に組織された、共謀のネットワークが必要になる。そのように効果的で高度なネットワークは、少なくとも、CIA、FBI、NSA、DIAを取りこむだけの、米情報部共同体の十分な協力があつたはずである。

これらのニセ旗ブラック作戦の、深さと幅そのものために、これら3つの大きな、アメリカへの攻撃は、米政府の3つの権力を通じて、深層国家の無数のエージェントからの、無言の承認と具体的支持をも、得なければならなかつたはずである。軍産複合体全体も、シリコンバレー技術企業も、同様に、これらのブラック作戦を支持するように取り込まれている。

これこそまさに、グラディオ作戦Cの働き方である。それは、グラディオ作戦A&Bと全く同じ戦術と戦略を用いるが、ただ、それらを特に、国内の大量被害者発生事件に適用するのである。これらの細心に演技された攻撃は、アメリカ人民を恐怖させるように企まれたニセ旗作戦として、決行されるのである。

**WESTERN GOVERNMENTS DO ATTACK THEIR OWN PEOPLE.**

**Why?**

- So they can instigate a **state of emergency** and manage their populations:
  - Sanctions/restrictions/new laws.
  - Removal of civil freedoms/liberties.
  - State of fear resulting in public obedience, compliance and servitude.
  - Justification for illegal wars in foreign countries.

**Research:**

- False Flag Attacks.
- Strategy of Tension.
- PSYOP.

- Step back, become informed and join millions of people around the globe who are waking up to reality right now.
- You will **NEVER** find the truth on TV or via the **mainstream media**, so use online alternative media and question **EVERYTHING.**

西側政府は確かに自国民を攻撃する。

なぜか？

緊急事態であることを煽り、人民を操作するために――

- ・ 制裁/制限/新法
- ・ 市民の権利や自由の撤廃
- ・ 恐怖による一般大衆の服従、帰順、奴隷化
- ・ 外国での不法な戦争の正当化

研究せよ：

- ニセ旗攻撃
- 緊張戦術
- 心理作戦

一歩下がって、情報を求めよ、そして現実を目覚めつつある、世界中の何百万の人々に参加せよ――たった今

テレビを見ても、主流メディアを通じても、決して真理はわからない。だからオ

ンライン代替メディアを利用せよ。そしてあらゆることを疑え。

## 緊張戦術

テロリズムはその本質上、それがどこで起ころうと、極端な緊張（と恐怖）の雰囲気をつくり出す。グラディオ作戦 C の目的そのものが、アメリカ全体に強い緊張をつくり出すことだから、国家は、どんな要求であろうと、政治家クラスが皮肉にも、NWO のご主人様のために法制化することを認める。実は、現在、法律は組織的にそのようにして作られている。つくられた合意が、さらに市民を隷属化する圧政的な法制へと道を開く。

ヨーロッパ中にこの“緊張の戦術”を意識的に用いたことによって、全体主義的超国家、すなわち、ヨーロッパ連合（EU）ができあがった。加盟国家の間の戦争をなくするという空約束が、EU の副産物として高くかけられた。ヨーロッパ全体にテロリズムを根絶するというニセの期待も喧伝されたが、それは逆の結果になった。

暴露された EU：ヨーロッパを破壊するために計画された、全体主義的超国家

<http://stateofthenation2012.com/?p=40678>

——以下省略